

冬ももうすぐだというのに、林のへりなどで大きな網を張っているジョロウグモ。博物館の周りにもたくさんがいます。「気持ち悪～い」と嫌われがちな生き物ですが、その姿も、網もよくよく観察してみると、結構きれいだったり、とても特殊な構造が見られたりします。

色は黒と黄色のしましまではありません。

ちょっとだけ「気持ち悪～い」を忘れて、ジョロウグモをよーく見てみましょう。なかなか複雑でおしゃれな色合いだと思いませんか？



ユニークなクモ

分類上、かつては「オニグモ科」や「アシンガグモ科」と考えられていましたが、現在では「ジョロウグモ科」という独立した科に入れるのが世界的に主流です。また、ほとんどのジョロウグモ類は熱帯から亜熱帯に分布しており、温帯に分布するのは日本にいるこの一種（学名：*Nephira clavata*）だけです。日本では沖縄から青森、海外では中国、韓国その他、台湾、ベトナム、ネパールの標高が高い場所に分布しています。ユニークなのは分布だけではなく、その網には他にないさまざまな特徴があります。



横糸が1周せずに上の方で折り返しているのがわかりますか？

これがオニグモなどの網と違うところです。そして、円網の前後に不規則な「迷網」がつくこと、網の外側にいくと、縦糸の数が増える事などが、日本のジョロウグモ *Nephira clavata* の特徴です。ぜひじっくり観察してみてください！

次回のお知らせ

ミニ観察会：12月21日（土）12時から
新聞 No.32 も観察会にあわせて発行します。